

# JIS

## 衣料のための身体用語

JIS L 0111 : 2006

(JATRA/JSA)

平成 18 年 5 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 消費生活技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	小 川 昭二郎	お茶の水女子大学
(委員)	赤 松 幹 之	独立行政法人産業技術総合研究所
	秋 庭 悦 子	社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
	天 野 正 喜	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	大 熊 志津江	文化女子大学
	岡 田 宏	社団法人繊維評価技術協議会
	長 見 萬里野	財団法人日本消費者協会
	加 藤 さゆり	全国地域婦人団体連絡協議会
	加 藤 隆 三	社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	小 熊 誠 次	社団法人日本オフィス家具協会
	三 枝 繁 雄	財団法人製品安全協会
	櫻 橋 晴 雄	社団法人日本ガス石油機器工業会
	佐 野 真理子	主婦連合会
	芝 原 純	社団法人消費者関連専門家会議
	沼 尻 禎 二	財団法人家電製品協会
	長谷川 政 章	株式会社西友
	星 川 安 之	財団法人共用品推進機構
	村 田 政 光	財団法人日本文化用品安全試験所

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 58.2.1 改正：平成 18.5.20

官 報 公 示：平成 18.5.22

原 案 作 成 者：日本アパレル工業技術研究会

(〒105-0003 東京都港区西新橋 1-14-7 山形ビル TEL 03-3591-8350)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：消費生活技術専門委員会 (委員長 小川 昭二郎)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット環境生活標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本アパレル工業技術研究会(JATRA)／財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって **JIS L 0111:1983** は改正され、この規格に置き換えられる。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任をもたない。

## 目 次

	ページ
1. 適用範囲 .....	1
2. 分類 .....	1
3. 用語及び定義 .....	1
解 説 .....	15
索 引 .....	19

## 衣料のための身体用語

## Glossary of terms used in body measurements for clothes

1. 適用範囲 この規格は、衣料のために用いる身体に関する主な用語について規定する。

備考 身体計測は、通常、被検者に、頭を耳眼平面が水平になるように保ち、両腕を自然に下垂し、ひざをのばし、左右のかかとを付け、足先を軽く開いた直立姿勢をとらせて行うものとする。ただし、直立できない被検者の場合は、頭を耳眼平面が垂直になるように保ち、両腕を自然に伸ばして、手のひらを軽く体側に当て、その他の身体部位は、直立姿勢の場合と同じように保った仰が（臥）姿勢で行う。

2. 分類 用語の分類は、次による。

- a) 身体の基準部位に関する用語
- b) 身体の寸法に関する用語

3. 用語及び定義 用語及び定義は、次による（付図 1～6 参照）。

備考 用語の下の平仮名は、その読みを示す。

なお、参考として対応英語を示す。

## a) 身体の基準部位に関する用語

番号	用語	定義	対応英語（参考）
101	頭頂点 とうちょうてん	頭頂部の、正中線上における最高点（付図 1 参照）。	vertex
102	側頭点 そくとうてん	頭部を耳眼水平面に保ったときの、側頭部において最も外側にある点（付図 1 参照）。	euryon
103	みけん点 みけんてん	耳眼水平面に保ったときの左右のまゆの間の点で正中線上最も前方に突き出している点（付図 1 参照）。	glabella
104	後頭点 こうとうてん	耳眼水平面に保ったとき正中線上で、後頭部において最も後方に突出している点（付図 1 参照）。	opisthocranium
105	おとがい点 おとがいてん	下あご（顎）の下縁のうち、正中線上で最も下方にある点（付図 1 参照）。	gnathion
106	バックネックポイント	第 7 けいつい（頸椎）のきょく（棘）突起の先端。けいつい（頸椎）点ともいう（付図 1 参照）。	back neck point
107	サイドネックポイント	ネックラインと僧帽筋上部前縁との交点。けいそく（頸側）点ともいう（付図 1 参照）。	side neck point
108	フロントネックポイント	鎖骨内側端の上縁水平位と前正中線との交点。けいか（頸窩）点ともいう（付図 1 参照）。	front neck point
109	ショルダポイント	側面からみ（視）て上腕上部の幅を 2 等分する垂直線とアームサイラインとの交点。肩先点ともいう（付図 1 参照）。	shoulder point